

おんきょう

第61号

特定非営利活動法人 千葉市音楽協会広報誌
千葉市花見川区朝日ヶ丘5-6-11
電話 043-275-2641

(特非) 千葉市音楽協会ホームページ <https://www.onkyo-chiba.com/>

ff

2023年10月1日 (日) 国際音楽の日コンサートのお知らせ

毎年10月1日は国際音楽の日。

ヴァイオリン奏者のユーディ・メニューインが国際紛争が絶えないことを嘆いて、1975年に提唱しました。国境も言葉も関係ない、人類皆楽しめる「音楽」を通して、愛好家の皆様もプロ奏者の皆様も楽しめるバラエティーに富んだ企画を毎年10月にご用意しています♪

(NPO法人) 千葉市音楽協会第457回公演

ヨハン・シュトラウスⅡ世

全3幕日本語上演映像字幕付き

喜歌劇

『こらもり』

15時開演(14時15分開場) 千葉市民会館大ホール
JR「千葉駅」より徒歩8分
JR総武本線「東千葉」駅 徒歩3分
全席自由 3,000円
(前売券2,500円公演3日前まで) 学生1,500円

指揮 小玉 保陽
演出 米本麻紀子
ピアノ 柳澤 光彦

出演



口ザリンデ
芝沼美湖



アデーレ
細(尾形) 晃子



アイゼンシュタイン
今福 充



アルフレード
榛葉 樹人



ファルケ
小林 涼



フランク
齋藤 渉

オルコフスキー 米本麻紀子 イーダ 泉貴美子 プリント 山下弘太郎 フロッシュ たきざわ勝彦
舞台監督 佐野拓世 照明 飯田 梢
合唱 おんきょうこらもり合唱団(協力 シティ オペラ ちば)

主催 (NPO法人) 千葉市音楽協会

後援 千葉市(令和5年度千葉市芸術文化振興事業補助金採択事業)

協賛 (公財) JFE21世紀財団 協力 シティ オペラ ちば

チケット受付窓口(各窓口で受け取り)

| 窓口(休館日等に注意してください) | 電話予約 |
|------------------------|----------------|
| ①千葉市民会館(中央区要町) | ○ 043-224-2431 |
| ②千葉市文化センター(中央区中央) | ○ 043-224-8211 |
| ③美浜文化ホール(美浜区真砂) | ○ 043-270-5619 |
| ④若葉文化ホール(若葉区千城台) | ○ 043-237-1911 |
| ⑤千葉市男女共同参画センター(中央区千葉寺) | ○ 043-209-8771 |

おんきょうホームページ
で予約、当日窓口で前券
価格でチケットを購入、
入場できます。

TEL043-276-2641(西井)



③④のみクレジットカード、セブンイレブンの受け取り支払いなどの選択ができます。

sf

第12回おんきょうジョイントコンサート

日時 2023年7月2日(日) 13:30~16:15

会場 千葉市文化センター アートホール

参加5団体の演奏内容は下記のとおりでした。

1 美浜混声 指揮 伊藤敦子 ピアノ 小野潤子

- 1 わたりどり……………北原 白秋 作詞 大中 恩 作曲
- 2 貝殻……………新美 南吉 作詞 大中 恩 作曲
- 3 夕方のお母さん……………サトウ ハチロー 作詞 中田 喜直 作曲 伊藤 幹翁 (編曲)
- 4 浜辺の歌……………林古溪 作詞 成田 為三 作曲 林 光 (編曲)
- 5 小さな空……………武満 徹 作詞・曲 伊藤 康英 (編曲)
- 6 夏の思い出……………江間 章子 作詞 中田 喜直 作曲
- 7 フニクリフニクラ……………フニクラ 津川 圭一 (訳詩) Luigi Denza 作曲
- 8 いざ立て戦人よ……………藤井 泰一郎作詞 グラナハム 作曲
- 9 フィンランディア……………関 忠亮 (訳詩) ジャン シベリウス 作曲
- 10 喜劇「メリーウィドウ」より～唇は語らずとも～……………堀内敬三 (訳詩) F.レハール 作曲

2 千葉バロック合奏団 指揮 天野深世 ピアノ 成澤久代

- 1 Sicut cervus (鹿のごとく)……………G.P.da Palestrina
- 2 Sitivit anima mea (わが心は飢え渴く)……………G.P.da Palestrina
- 3 Kyrie・Agnus Dei (四声のミサ曲より)……………W.Byrd
- 4 Cibavit eos (彼らを良き麦にて養い)……………W.Byrd
- 5 Ne timeas, Maria (恐るるなマリアよ)……………T.L.de Victoria
- 6 Ad te, Domine (主よ あなたへ)……………A.Scarlatti
- 7 Jesus bleibet meine Freude (主よ、人の恵の喜びよ)……………J.S.Bach

3 千葉フルート愛好会

- 1 「舞踏への勧誘」……………C.M.ウェーバー 作曲 (高間 吉子編曲)
- 2 フェイスイズ……………J.クリステンセン 作曲
- 3 交響曲第9番 「新世界より第4楽章」……………A.ドヴォルザーク 作曲 (高下 二郎編曲)

4 千葉インターナショナルシンガーズ 指揮 Steven Morgan ピアノ 常陸由紀

1. Can't Help Falling in Love (「好きにならずにいられない」)
words and music by George David Weiss, Hugo Peretti & Luigi Creatore arranged by Roger Emerson
2. Embraceable You (「君を抱いて」)
words and music by George Gershwin & Ira Gershwin arranged by Jay Althouse
3. Stairway to Paradise (「天国への階段」)
words by B. G. De Sylva & Arthur Francis, music by George Gershwin, arranged by Donald Moore
4. Try To Remember (「思い出の9月」)
words by Tom Jones, music by Harvey Schmidt arranged by Frank Pooler
5. The Girl from Ipanema (「イパネマの娘」)
words by Norman Gimbel, music by Antonio Carlos Jobim arranged by Anita Kerr
6. Cielito Lindo (「シエリト・リンド」)
Mexican folk Song, arranged by Barbara Harlow
7. The Impossible Dream (ラマンチャの男より「見果てぬ夢」)
words by Joe Darion, music by Mitch Leigh arranged by Mark Hayes

5 ピアニッシモ 指揮 笹村裕子 ピアノ 小関マリ

- 1 花のまわりで……………江間章子 作詞 大津三郎 作曲 岡本敏明 編曲
- 2 Furusato故郷……………高野辰之 作詞 岡野貞一 作曲 Bob Chilcott 編曲
- 3 トルコ行進曲……………W. A. Mozart 作曲
- 4 歌が生まれる……………なかにしあかね 作詞・作曲
- 5 女声合唱のためのヒットメドレー「LOVE」より
夜明けのスクヤット～喝采～どうにもとまらない……………三沢治美 編曲
- 6 リメンバー・ミー……………Kristen Anderson Lopez, Robert Lopez 作詞・作曲
竹本浩子 日本語詞
- 7 涙をこえて……………かぜ耕士 作詞 中村八大 作曲 篠田聡史 ピアノ伴奏編曲

第27回 国際音楽の日コンサート

オンガクを知ると世界が平和に！？みんな音楽がすき！

開催日時：2022年10月2日（日）
 会場：千葉市民会館大ホール
 主催：（NPO法人）千葉市音楽協会
 協賛：（公財）JFE21世紀財団



このコンサートは、ARTS for the future! 2（コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業）の助成を受け、開催しました。採択されるまでに時間がかかり、2通りの企画を進めていましたが普段なかなかできない大きな内容となり、奏者も来場者の皆様も大満足のコンサートでした。

弦楽四重奏、声楽、フルートアンサンブル、弦楽オーケストラと、内容は盛沢山。

特におんきょうフィルハーモニー管弦楽団のメンバーによる弦楽オーケストラは、2台のピアノとナレーションも入れて、サン＝サーンス作曲の動物の謝肉祭を演奏し、拍手喝采でした。



第69回 千葉市民音楽祭

開催日時：2022年11月6日（日） 開演 第1部 11：00～ 第2部 12：50～
 場所：千葉市民会館大ホール
 主催：（NPO法人）千葉市音楽協会
 後援/千葉市（令和4年度千葉市芸術文化振興事業補助金事業）
 協賛/（公財）JFE21世紀財団

千葉市民音楽祭はコロナ禍で2年間中止を余儀なくされていましたが、活動を再開している市民団体が増えてきているとの調査結果を踏まえ、昨年11月第69回目となる開催を3年振りに千葉市民会館大ホールにて実現すること出来ました。

参加された団体は、コロナ前の半分程度の16団体に留まりましたが、小中学生からお年寄りまで幅広い年齢層の団体の参加がありました。また演奏曲も合唱定番曲はもとより、バロックやディズニー曲、さらにオペラ曲までバラエティーに富んでいて、開催を心待ちしていたお客さまを存分に楽しませてくれました。

最後におんきょうスクールコンサートを担っているメンバーの中から、木管3名・ピアノ1名による「アンサンブルエレガント」の特別演奏も披露され、盛んな拍手と賛辞が送られていました。

久々の開催で、運営ノウハウが途切れてしまわないか心配されましたが、参加団体やおんきょうスタッフの的確な動きで、スムーズにコンサートが進行・終了しました。

出演団体＜出演順に掲載＞

第1部 8団体

美浜混声、磯辺女声コーラス、千葉市立新宿中学校音楽部、楽歌声、
 ピアニッシモ、コンパーレ結、コーラス松ぼっくり、千葉若潮少年少女合唱団

第2部 8団体

コール・フェローズ、混声ポコアポコ、千葉バロック合唱団、コールくさの、
 コーロミスト結、グリーンヒルコーラス、轟混声合唱団、シティオペラちば

【特別演奏】アンサンブルエレガント（スクールコンサートメンバーによる）

フルート：渡部 直子 フルート&ピッコロ：錦織 泉
 クラリネット：守屋 和佳子 ピアノ：山下 美子

4年振り開催！ 第14回市民による「第九」特別演奏会 実施報告 1

第453回公演 2022年12月4日(日) 千葉市民会館大ホール 開場 13:00 開演 14:00

指揮：榊 真由 おんきょうフィルハーモニー管弦楽団 おんきょう第九合唱団
ソプラノ：坂井美登里 メゾソプラノ：石橋桂子 テノール：伊藤 潤 バリトン：小林 涼

1年延期となっていた「第九」コンサートでしたが、コロナ禍の出口が見え始めた中で、昨年12月4日に開催することが出来ました。今回の公演は、会場をこれまでの千葉県文化会館から千葉市民会館大ホールに変更したこと、コロナの影響でステージ上の人数に制約があることから、オーケストラと合唱団全員がうまくステージ上に配置出来るかが、最大の懸念事項でした。このため何度もシミュレーションを繰り返し、全員揃ってステージに上がれることが確認出来たのは、公演直前のギリギリの状況でした。

プログラム構成は「第九」を合唱の入る第4楽章のみとし、その分馴染みのあるクラシック曲を増やしたのも今回の公演の特徴です。オーケストラは前年開催のクリスマスコンサートに出演したメンバーを中心に再結成された「おんきょうフィルハーモニー管弦楽団」、事前に公募で結成され25回を超える練習を重ねたおんきょう第九合唱団、そしてソリスト4名が加わり、見事な「第九」ステージが実現しました。

指揮者の榊真由氏からは、合唱の練習段階からご協力をいただき、その成果が結実した演奏で会場全体が圧倒的な歓喜と感動に包まれ終演となりました。

本公演のためにご尽力下さった全ての皆様に心から感謝申し上げます。

主催：(NPO法人) 千葉市音楽協会

後援：千葉市(令和4年芸術文化振興事業補助金)

協賛：(公財) JFE21世紀財団

第 1 部

[グリーンカ]

歌劇「ルスランとルドミュラ」序曲

[ビゼー]

「カルメン」第1、2組曲より

トリアドール、プレリユード、アラゴネーゼ、間奏曲、ボヘミアの歌

[チャイコフスキー]

バレエ組曲「くるみ割り人形」作品71より 花のワルツ

第 2 部

[ベートーベン]

音楽劇「エグモント」序曲 作品84

[ベートーベン]

交響曲第9番二短調作品125

「合唱付き」より第4楽章



おんきょうフィルハーモニー管弦楽団

当協会会員を中心に、千葉にゆかりのある方や、当協会を応援して下さるプロの奏者、そして、これからの活躍が期待される若手奏者により編成されています。

第1ヴァイオリン

小泉 百合香
長谷部 恵美
舟久保 優貴
清水 ちひろ
廣田 真理衣
井上 葵
佐川 絵美
松岡 野乃花
宮下 玲衣
増本 響香

第2ヴァイオリン

大野 智子
下城 瑠五子
上原 千穂
倉沢 茉紘
鈴木 響香
林 亮太
松原 倭花子
藤本 翔太

ヴィオラ

澤田 香萌
角田 峻史
秋元 理恵
加藤 星南
藤村 もりの
今井 凜

チェロ

鈴木 岳
大森 健一
丸山 朋文
荒木 匠登
石川 啓

コントラバス

寺田 和正
清沢 健生
本田 直也

フルート・ピッコロ

渡部 直子
錦織 泉
宮本 夢加

オーボエ

宮田 麻沙代
林 憲秀

クラリネット

守屋 和佳子
岡田 渉

ファゴット

安室 尚恵
津田 順子

コントラファゴット

春山 竜也

ホルン

鈴木 克博
飯島 さゆり
北山 順子
源 真理

トランペット

本多 遥

トロンボーン

青木 裕汰
伊藤 あおい
木村 雅紀

チューバ

蔵品 大平

ティンパニ

小川 研一郎

パーカッション

三井 理世
加藤 優花
浜谷 安里

ハーブ

関 ののこ

4年振り開催！ 第14回市民による”第九”特別演奏会 実施報告②

マスク着用ながらも迫力ある合唱を披露～おんきょう第九合唱団始末記～

合唱指導：小玉保陽
合唱練習ピアニスト：小島かなえ 柳澤光彦

おんきょう第九合唱団は、2022年5月より募集を開始し、8月に6回の初心者向けの練習を行った後、9月4日に市民会館小ホールにて結団式を行い、総勢約90名にて以降20回を超える練習を開始しました。

指導は当協会の理事でもある小玉保陽さん、練習ピアニストは小島かなえさんと柳澤光彦さんに輪番で担当していただきました。

小玉先生の優しくもユーモアを交えた指導で、最初はあまり声が出なかった団員も徐々に声量が増えて行き、最終的にコロナ対策でマスク着用が必要な中、これに負けない歌声を響かせるまでに成長することが出来ました。

何よりも嬉しかったのは、高齢者が多いため適切な休憩や換気にも配慮した結果、ほぼ全員が元気に当日のステージに上がり存分に練習成果を発揮することが出来たことと、指揮者の榊さんから本番直前練習で「最初の頃に比べて格段に上手になっています」とお褒めの言葉をいただいたことです。

この間の関係者・諸先生方のご尽力に心より御礼申し上げます。

結団式における合唱団代表挨拶

ベートーベンが最後の交響曲「第九合唱付」に着手したのが1822年、2年後の1824年完成。ということでは着手から二百年目に当たります。この曲に込めた彼の思いは「フランス革命やナポレオンの出現で、一握りの封建領主とそれに与する特権貴族達が支配する、庶民にとっては大変不合理な社会制度が打ち壊される時代が漸く近づいてきた」この事を音楽を通して伝えたいのです。

“新しい時代が来るぞ！自由で争いのない平和な世界が来ることを信じて、皆力を合わせて頑張ろう！”この思いを力強いオケの演奏と、地から湧き上り天から舞い降りる圧倒的な歌声で人々の心を揺さぶる音にしたのです。それから二百年、今だに地上の何処かで戦いの音が響き三年前からのコロナ禍で外出も集まる事も歌う事も制約の多い時代に遭遇しています。今年の「第九」は二百年前のベートーベンの願いが一日も早く実現するよう、迫力ある歌声で伝えましょう。

代表 近藤昭義



おんきょう第九合唱団 ※賛助

<ソプラノ>

| | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 青木伊都子 | 青木のぞみ | 飯高 陽子 | 上野みのり | 太田 陽子 | 沖 藍子※ | 奥田 桂子 |
| 奥田 朋子 | 小籠 聖子 | 国分佐恵子 | 小林みはる | 澤田 仁香 | 橘 光子 | 立石 順子 |
| 長谷川菜穂子 | 長谷川寧々 | 百武いづみ | 平井 美穂 | 廣瀬 佳 | 舟久保美香 | 松浦 藍※ |
| 森 みき | 横山 洋子 | | | | | |

<アルト>

| | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 相原 洋子 | 和泉 浩美 | 伊藤かつえ | 宇野真理子 | 葛城 麻理 | 木原 えま | 木村 久子 |
| 小出 映子 | 小玉 直美 | 齋木 喜子 | 佐藤 和子 | 佐藤 淑子 | 里見 春美 | 穴倉貴代美 |
| 中西みどり | 野川奈津子 | 野村 妙子 | 平野 友美 | 福本 邦子 | 藤原 泰江 | 三木 和子 |
| 水谷 純子 | 道広真理子 | 武者 信子 | 山本 鞠繪 | 湯浅三枝子 | 吉井千鶴子 | 吉田 洋子 |
| 吉原 幸子 | 渡邊 祥子 | | | | | |

<テノール>

| | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 相原 恒雄 | 赤羽 繁 | 伊藤 正彦 | 宇野 雅春 | 大橋 和宏 | 大西啓司※ | 小野 昭夫 |
| 海外 義次 | 河尻 宏史 | 小林 敬和 | 清水 洋 | 中條 主也 | 中村 敏雄 | 西井 正昭 |
| 松藤 敏郎 | 森本 隆三 | | | | | |

<バス>

| | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 新井 勉 | 石橋 一秀 | 鎌田 公雄 | 神村 紘一 | 小林 孝一 | 近藤 明義 | 清水 正人 |
| 下条 和一 | 庄司 進 | 鈴木 信弘 | 関 晴臣 | 田嶋 要 | 橘 正道 | 田中 栄一 |
| 中村 弘史 | 幅岸 秀樹 | 藤代 正俊 | 増野 一郎 | 渡邊 徳通 | | |

第51回千葉市民芸術祭参加 (NPO法人) 千葉市音楽協会第454回公演

第10回 おんきょうスプリングコンサート ～はなやぐ春、木管の息吹き～

(2023年3月5日(日)14時開演 千葉市美浜文化ホール 音楽ホール)

今回のスプリングコンサートは、木管楽器とその特殊管（アルトフルート、バスフルート）アンサンブルをテーマに、コロナからの解放を新たなる春の息吹きとイメージし、様々な編成でのプログラムのコンサートを開催しました。音楽ホールは150人が定員の空間で、管楽器の息使いが良く分かり、臨場感が増し、来場の皆様には満足いくものとなりました。

【演奏曲目】

はなやぎ（フルート三重奏）福田洋介
 フィオリトゥーラ（フルート四重奏）八木澤教司
 4つのバガテルより（木管四重奏）A.ルブツォフ
 コレットの主題による組曲より（木管三重奏）D.ミヨ
 スラブ舞曲より（木管七重奏）A.ドヴォルザーク

【出演者】

フルート 渡部直子、錦織泉、宮本夢加、河合沙樹
 オーボエ 宮田麻沙代 クラリネット 守屋和佳子
 ファゴット 安室尚恵



第51回千葉市民芸術祭参加 (NPO法人) 千葉市音楽協会第455回公演

第2回おんきょう春の訪れコンサート ～心おどるバロック音楽 ビバ！ ヴィヴァルディ！～

(2023年3月19日(日)14時開演 千葉市生涯学習センター 2階ホール)

団体会員である「千葉バッハ合唱団」の協力により、メイン曲は公募のメンバーも加わった合同合唱団で、重厚にして繊細、華やかさと輝きのある「グローリア」が実現しました。

声楽ソリストの歌唱、おんきょうプロ器楽奏者の演奏もそれぞれ素晴らしく、ほぼ満席の来場者には大変好評で、喜びの音が聞かれました。

【演奏曲目】

F. ドゥランテ：四声のマニフィカト 変ロ長調
 A. ヴィヴァルディ：「四季」より 春（ソロヴァイオリン 御木マドカ）
 A. スカルラッティ：サルヴェ・レジーナ
 A. ヴィヴァルディ：グローリア 二長調

【出演者】

指揮 福島康晴
 ソプラノ 阿部早希子 メゾソプラノ 木下素子 テノール 山中志月 バス 目黒知史
 ソロヴァイオリン 御木マドカ ヴァイオリン 大野智子 ヴァイオリン 舟久保優貴
 ヴィオラ 澤田香萌 チェロ 大森健一 コントラバス 寺田和正
 オーボエ 小野智子 トランペット 内藤知裕 チェンバロ 平山亜古
 合唱 おんきょう春の訪れ合唱団（千葉バッハ合唱団と公募により結成）



2023年度事業計画

<主催事業>

① 第12回ジョイントコンサート

応募が5団体あったため、3年振りの開催を実現させる。

② 第28回国際音楽の日コンサート

10月1日（日）に千葉市民会館大ホールで国際音楽の日コンサートを開催する。

今回は、シティ オペラ ちばの協力の下、オペレッタ「こうもり」を公募の合唱団とプロの音楽家が出演する企画として実施する。

③ 第70回市民音楽祭

昨年の市民音楽祭は出演が16団体に止まったが、今回は練習を再開した団体が増えてきていることから、コロナ前の出演団体数（30団体）を想定した開催としたい。

④ 第11回おんきょうスプリングコンサート

今年度も千葉市文化連盟と連携しつつ2024年3月3日（日）に器楽演奏の公演を開催する。

⑤ 第3回おんきょう春の訪れコンサート

一昨年より「春の訪れ」を継続開催することとしており、今年度もスプリングコンサートと同様に千葉市民芸術祭参加公演として、2024年3月17日（日）に開催する。

⑥ スクールコンサート

コロナ後の時代に相応しい企画を作成し、小学校・中学校へ数校訪問できるようにPRをする。

<企業からの支援と「まち寄附」への呼びかけ>

JFE21世紀財団様には本年度も協賛金を頂ける見込みであり、千葉銀行様、京葉銀行様からも引き続き支援を頂く。

また千葉市まちづくり応援寄附金（まち寄附）からも当協会に毎年寄付金が寄せられていることから、今年度も寄付の呼びかけを積極的に行う。

<会員の増加活動>

財政の健全化のためにも会員の増加活動は重点事項である。特に音楽家、音楽団体にとって魅力ある音楽協会にすることにより会員を増やしていく。

<広報活動>

機関紙「おんきょう」を年1回発行するほか、ホームページや Facebook・Instagram・Twitter を活用し一層充実した広報活動を行う。

—ホームページの下段に各SNSへのリンクが張られています。ご活用ください！！—

会長挨拶



特定非営利活動法人
千葉市音楽協会
会長 小林 孝一

クラシック音楽界の大きな課題として愛好家の高齢化と愛好家数の減少があります。各合唱団の年齢構成をみると、いずれの団も高齢化と団員数の減少が進んでいます。来客の年齢構成も高齢の方々が多く、若者が少ないのが現状です。若い方々のクラシック音楽離れはクラシック音楽界の大きな課題であり、当協会としても難しい乍らも重要な課題として対応策を模索していきます。

当協会の運営に関して従来にも増してデジタル化を進めます。HPを一層充実し、刻々の情報更新をしていきます。その他ITを活用した協会の運営を進めていきます。

今年度の活動開始に際し、会員の皆様に一層のご理解と協力をお願いし、支援して下さる行政、企業や団体にも感謝申し上げます。

2023年4月 年度開始に際し

♪ スクールコンサートについて ♪

千葉市にゆかりあるプロの演奏家による、クラシックを中心とした声楽、器楽による生の演奏を、校内の体育館で臨場感たっぷりに聴かせるコンサートです。(学校以外、病院、介護施設等もご対応します。)

昨年度は、若葉区みつわ台南小学校にて、コロナ明けの久々の実施となりましたが、引き続きの感染防止対策の観点から、2学年ずつ3回に分け、また声楽を入れずに器楽のみの編成での実施となりました。プログラムの中には、楽器解説、生徒さん全員が手話による《ピリブ》を演奏したり、ブームス作曲《ハンガリー舞曲第5番》では、何名かに指揮者体験をしてもらうなど、演奏側の一方通行にならない工夫も織り交ぜたりと工夫を凝らしました。電子機器媒体を通した音ではない生演奏に、生徒の皆さん、目を輝かせながら鑑賞していました。

今年度は、さらに各学校の事情に応じたフレキシブルなプログラムをご提案しながら展開をしていきたいと思っております。お気軽に事務局宛ご相談ください！

これからのおんきょう主催演奏会のお知らせ

・第28回国際音楽の日コンサート

2023.10.01 (日) 市民会館大ホール

オペレッタ「こうもり」をプロ声楽家とアマ合唱団の競演で(前掲)

・第70回市民音楽祭

2023.11.12 (日) 市民会館大ホール

昨年復活開催したアマチュア音楽団体の祭典を拡大開催

・第11回おんきょうスプリングコンサート

2024.03.03 (日) 美浜文化センター 音楽ホール

市民芸術祭参加 プロの器楽演奏家によるコンサート

・第3回おんきょう春の訪れコンサート

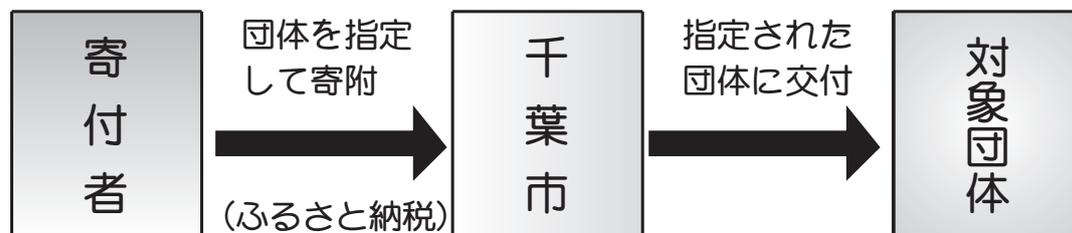
2024.03.17 (日) 生涯学習センター2階ホール

市民芸術祭参加 プロの声楽家中心のコンサート

おんきょうの主催公演を「まち寄附」でご支援ください！！

「まち寄附」は、ふるさと納税の税控除を活用しながら、自分が応援したいNPO法人(千葉市指定団体)へ寄付する制度です。おんきょうはこの指定団体に登録済で、寄付金を活用し主催公演の拡充や入場料の低額化に取り組んでおります。—寄附は随時募集中です—

《まち寄附の流れ》



おんきょうホームページ・SNSをご活用下さい

<https://www.onkyo-chiba.com/>

SNSはホームページ下部の
右記バナーよりアクセス下さい

